

共同利用・共同研究課題「アイヌ語現地調査資料のアーカイブズ構築にかんする学際的研究(2)」2022年度第2回研究会(通算第4回目)

2022年12月10日(土)13:00-17:00; AA研マルチメディア会議室(304)+オンライン

本共同研究課題の第4回目となる今研究会では、3件の発表と、発表に関する質疑応答・情報提供、全体討論を行った。

奥田統己(AA研共同研究員、札幌学院大学) 開会、趣旨説明

1. 奥田統己(AA研共同研究員、札幌学院大学)

「AA研所蔵のアイヌ語資料の整理の現状・成果と今後の方針について」

2. 深澤美香(AA研共同研究員、国立アイヌ民族博物館)

「AA研所蔵のアイヌ語フィールドノートの整理に向けて:美幌方言調査を中心に(8)」

3. 中川裕(AA研共同研究員、千葉大学名誉教授)

「木幡菊蔵氏の yukar (1976年8月21日録音)」

奥田統己(司会) 総合討論

アイヌ語現地調査資料の整理と活用に関して、AA研所蔵アイヌ語資料を対象とした以下のような報告が行われた。

奥田からは現在までの資料のデジタル化作業の進捗状況報告と今後の予定、および処分する方針の資料に関する報告があった。深澤からは精査対象であるアイヌ語フィールドノートのオンライン公開に向けた報告の中で、どのようなデザインで何をどのような形で示すのが利用者および構築者にとって理想なのかという問題提起がなされた。中川からは1976年録音の yukar の紹介とその特徴に関して報告がなされた。3件の報告をふまえ、参加メンバー全員での討論がおこなわれた。とくにアーカイビングに関して、どのレベルまで研究者の解釈を加えて公開するのが望ましいのかという点について議論がなされ、意見が割れた。作業従事者のエフォートや若手研究者養成という点でも重要な問題であり、今後継続して議論を重ねることとした。

※当報告の内容は、報告者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.